

福光中部小だより

令和7年6月25日

No.540

南砺市立福光中部小学校

E-mail es_fukumitsuchubu@nanto.ed.jp

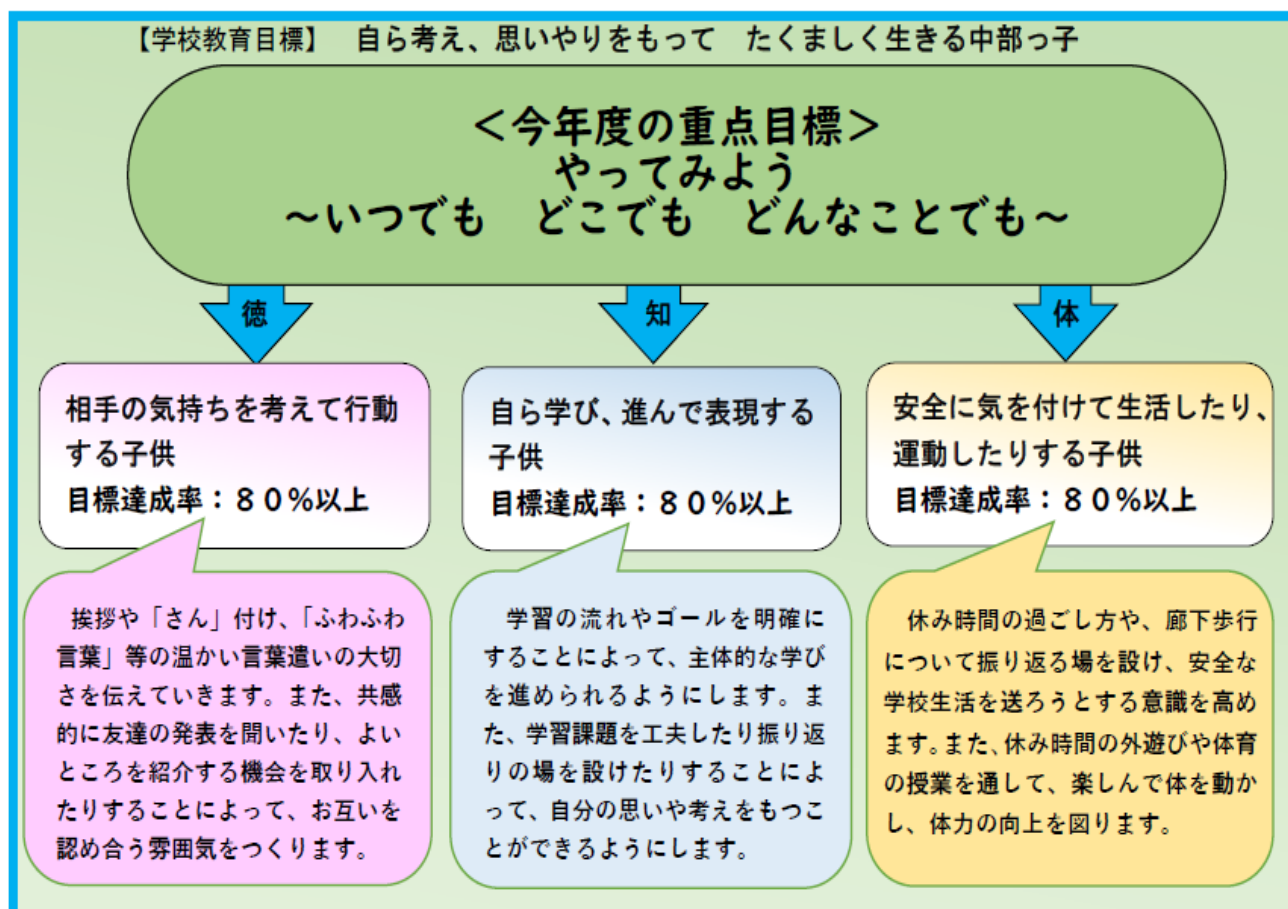


ホームページ

令和7年度 福光中部小学校アクションプラン

教務主任 松本 恵美

本校の今年度の重点目標は、「やってみよう ～いつでも どこでも どんなことでも～」です。この言葉には、子供たちが様々なことに挑戦することを通して、可能性や力を伸ばそうという願いが込められています。今年度、本校が目指すアクションプランは、以下のとおりです。



先月の運動会や5年宿泊学習でも、「やってみよう」を合言葉に、子供たちは様々な活動に精一杯取り組みました。今後も、この重点目標とアクションプランを意識しながら、子供自身が自己選択・自己決定し、目標に向かって可能性を最大限に引き出せるよう、教職員が一丸となって指導・支援に努めていきたいと思います。保護者や地域の皆様の温かいご支援・ご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

ふれあい隊・こども110番の家の皆様へ ～7月の下校時刻変更をお知らせします～

1日(火)	全校集団下校のため	14:25(1～6年)
2日(水)	学期末特別日課のため	14:25(1～6年)
3日(木)		
4日(金)		
10日(木)	委員会活動のため	14:25(1～4年) 15:15(5・6年)
17日(木)	クラブ活動のため	14:25(1～3年) 15:15(4～6年)
22日(火)	個別懇談会のため全校一斉下校	13:10(1～6年)
23日(水)		
24日(木)	1学期終業式のため全校一斉下校	13:10(1～6年)



チョウを育てよう

3年担任

3年生は、4月から理科の学習が始まりました。「チョウのかんさつ」の学習では、中部の森に植えてあるキャベツの葉をよく見て、アオムシの卵や成虫を探すことから始まりました。見付けた卵やアオムシは教室で観察をしています。「私のアオムシどこいった?」「もうキャベツの葉がない!」と毎日アオムシの様子を観察しています。自分のアオムシを育てることで、モンシロチョウが卵、幼虫、さなぎ、成虫の順に成長していることを知りました。

ある日、さなぎの色がチョウの羽の模様に変化していることに気付いた子がいました。家に持ち帰り、チョウに羽化する様子を見ることができたと教えてくれました。チョウになってからも、花や水を虫かごに入れるお世話を一生懸命していました。生き物に愛着をもち、大切に育てる温かい心が育ってきたと感じました。

これからも、子供たちの思いを大切にして学習を進めていきたいと思ひます。



【チョウの幼虫を観察する様子】



栽培・掲示で、明るい学校に

栽培・掲示委員会

栽培・掲示委員会では、学校の周囲にある花壇に色とりどりの花苗ポットを植えました。委員会の子供たちは、曜日ごとに水やり当番を決め、一人一人が責任もって花のお世話に取り組んでいます。また、植えた花の名前や特徴を全校児童に知ってもらうためにポスターを作成し、校内に掲示しました。今後も植物を育てる活動を通して、中部っ子の優しい心を育ていけるよう支えていきたいと思ひます。



【苗植えをしている様子】



他校の小学校との交流

5年担任

5月26日、27日の砺波青少年自然の家での宿泊学習では、福光南部小学校の5、6年生と交流しました。朝・夕べのついでに他校の友達と自己紹介をしたり、追跡ハイキングで同じコースを歩いたりして、楽しいひとときを過ごしました。

中学校でまた会えるかもしれない子供たちにとって、素敵な交流の機会となりました。



【他校の友達と交流する様子】